

調査報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日 調査実施の時間	平成 21年 1月 29日 開始 10 時 30 分 ~ 終了 16 時 00 分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホームぬまくま (広島県)
評価調査員の氏名	氏 名 <u>占部 邦彦</u>
	氏 名 <u>上田 治江 ・ 平岡 朋加</u>
事業所側対応者	職 名 <u>ホーム長 / 管理者</u>
	氏 名 <u>岸田 浩子 ・ 池原スエ子</u>
	ヒアリングを行った職員数 (3)人

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1, 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3474300245
法人名	医療法人社団 沼南会
事業所名	グループホーム ぬまくま
所在地	福山市沼隈町大字常石1284 - 3 (電話) 084 - 987 - 4115
評価機関名	特定非営利活動法人 あしと
所在地	福山市三吉町南一丁目11 - 31 - 201
訪問調査日	平成 年 1 月 29 日

【情報提供票より】(21年 1月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 年 4 月 1 日
ユニット数	3ユニット 利用定員数計 27 人
職員数	20 人 常勤 19 人 非常勤 1 人 常勤換算 19.5 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	5 階建ての 3 階 ~ 5 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (八百円時並戸お)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1000 円	

(4) 利用者の概要(1月29日現在)

利用者人数	27 名	男性 6 名	女性 21 名
要介護1	8 名	要介護2	7 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢 平均	86.6 歳	最低 58 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	常石病院 沼隈病院 黒瀬クリニック
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】 作成日 平成 21年 2月 4日
地域性がある事業であり海、山に囲まれ季節の移り変わりも肌で感じることができる。同一法人の病院が隣接しているため、健康管理が万全であり利用者も家族も安心した暮らしができています。利用者一人ひとりの生活歴を大切にその人の力量が発揮できるよう支援している。また家族会が確立しており運営推進会議にも多くの方が参加され充実した会議となっている。ボランティアの受け入れも積極的に行い、利用者とともに楽しめる雰囲気作りを行っている。ケアにおいては誤嚥防止に努め、嚥下体操を行い口腔ケアにも日々努めている。一人ひとりの整容にも心がけ、清潔感あふれる事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価結果について運営推進会議で報告し、要改善点を全体に周知し、改善に向けた努力をしている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全体で取り組み作成された。その中での気付きについては職員間で共有し課題について再認識し話し合い取んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2カ月に1回開催し、民生委員、町内会、行政、家族等の参加で事業所の報告を行い、その中で出された意見要望についてフローミーティングで周知しサービスの質の向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会での意見や、訪問時に意見や要望を聞くよう努め、問題点についてはカンファレンスで話し合い、それらを運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地元保育所の子供達、ボランティアの方との交流があり歌ったりゲームを楽しんでいる。地域行事へ参加したり、ホーム行事に来てもらったり自然な溶け込みが出来ている。造船の街という共通の話題があり絆は強い。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	医療、看護、介護のトータルサービスで地域生活の継続を支えるための支援を事業所の理念にしている。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各自名札の裏に理念を明記して常に再確認し、ミーティングでは理念を再確認し、実践に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元保育所の子供達、ボランティアの方との交流があり歌ったりゲームを楽しんでいる。地域行事へ参加したり、ホーム行事に来てもらったり自然な溶け込みが出来ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全体で取り組み作成された。外部評価は職員間で共有し、また運営推進会の中で問題点について話し合い改善に努めている。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回開催し、民生委員、町内会、行政、家族等の参加で事業所の報告を行い、その中で出された意見要望についてフローミーティングで周知しサービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	同一法人事業所を通じて行政との連携をとりサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の様子や金銭管理の報告は定期的に行ない、面会時に伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や来訪時などに意見や話を聞いている。問題点は職員で共有しサービスに反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は、利用者の動揺を少なくするために職員間で協力し合い、最小限に抑えるよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での研修で職員育成に努め、社外研修にも積極的に参加できる仕組みが出来ている。研修内容は全体で共有している。AEDの取扱いも全員周知している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の施設見学を行い、交流する機会に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用者、家族とともに見学をし、職員や利用者の紹介を行い場の雰囲気に馴染んでもらい、納得した上で利用している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	本人の好みに合わせた支援に取り組み、のど自慢に参加したり、地域で採れるテングサでトコロテンを作ったりして喜びを共にし、自然に馴染みながら支えあう関係に努めている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	無理強いのないように他の利用者との調和をとりながら、本人の希望の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人の意向を把握し家族の意見を取り入れ、月1回のミーティングで計画作成をしている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	月1回のモニタリングを基に3~6ヶ月の介護計画の見直しを行っている。状態が変化した場合ははその都度話し合って現状に即した対応をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況により、法人事業所内の多機能を利用する等柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望によりかかりつけ医の医療支援ができています。協力医療機関の定期的な訪問診療・健康管理等受けられる体制作りができています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時説明をし家族、本人、職員、医師と全員で方針を共有している。重度化した場合を想定し専門的な知識を深めるよう研修会を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけも丁寧で利用者も違和感なく会話ができている。個人記録等の取扱いは配慮されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせた生活ができる支援がなされている。その日の状態を把握し、希望に添った支援ができるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前に嚥下を促す運動をし一人ひとりの状態に応じ穏やかに食事を摂られていた。職員も一緒に見守りをしながら片づけ等されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その日の状態をみて希望に添った入浴支援を職員は心掛けている。ミスト・シャワーを導入していて、快適に入浴できる取り組みがなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	保育所の園児やボランティアの人が訪れたりして歌ったり、話したりして楽しんでいる。力量に応じ、花壇の手入れなども一緒に行なっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候のよい日は状態に合わせた外出がされている。(日向ぼっこ、買い物、散歩等)		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は施錠していない。エレベーター付近にはセンサーを設置し一人一人の行動を把握し見守りを強化している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署から指導を受け点検と災害訓練をしている。消火器の設置場所も把握できている。火事をおこさないという意識を徹底している。		事業所が3,4,5階にあるため避難訓練は必至である。昼間、夜間問わずの訓練をされ地域との協力を得る働きかけをする取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立でバランスの摂れた食事となっている。水分摂取量については記録を取り水分確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空気によどみはない。テレビや癒しの音楽もほどよい音量でなされている。共有の空間も利用しやすく配慮されていて手すりも設置されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた物や個人にあった品物が配置されており、本人の居心地の良い雰囲気がつくりられている。		

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム ぬまくま(3階 ユニット)

評価年月日 2009年 1月 29日

記入年月日 2009年 1月 23日

記入者 代表/管理者 氏名 佐藤 徳子

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念 『私たちは医療・看護・介護のトータルサービスで地域の皆様が笑顔でいきいきとした人生をおくることができるよう支援します』をもとに地域の人々とともに利用者の日常生活の援助を行なっている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	介護マニュアル・名札の裏に明記し707ミーティング・全職員の勉強会等で再確認し実践している。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念をエレベーター内に掲示するとともに家族会（隔月）での家族との情報交換、又地域との合同夏祭り等行事に参加し地域に対しての理解協力を求めている。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の行事奉仕活動に参加し日常の付き合いに努めている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事奉仕活動に参加し日常の付き合いに努めている。また諸行事、老人会等にも参加させてもらい交流に努めている。		自治会・子供会・福祉を守る会等とより一層交流を深め協賛で行事を行う機会を作っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の清掃等に参加協力を行なうとともに地域の行事支援に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年の自己評価・外部評価を70ア-ミーティング・勉強会等で検討協議し不足部分の改善に努めサービスの質の向上に努めている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議での報告・意見また家族会の要望等をリーダー会議・同法人他施設との合同会議等で検討し70ア-ミーティングで周知しサービスの向上に努めている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	同一法人の居宅支援事業所等を通じ市町村担当者との連携によりサービスの向上に努めている。また社会福祉協議会にてお金の管理（入居者1名）を行なってもらっている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部講習会また法人勉強会への参加を促しそれをもとに個々の必要性を話し合い活用できるよう支援している。成年後見制度の手続き中である。（1名）		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習会・勉強会（同一法人）参加やグループホーム協会等の発行する刊行物等の情報を共有し注意・防止に努めている。		講習会への参加機会を増やし更なる質の向上に努める。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書・重要事項説明書・運営規定等十分な説明し理解・納得されるよう努めている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の不満・苦情等に対してはフロアーミーティング等で職員に周知し改善に努めている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来所時に家族には逐次報告するとともに家族会において全体・個別に報告すると共に記録の公開を行なっている。又急を要する場合は電話等により報告している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等訪問者に対しては意見箱を設置し投稿された意見を反映させると共に家族会で情報の交流を行なっている。又来訪された時不満・意見等聴取し運営に反映させている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>70アミーティング等で出された意見をリーダー会議・法人運営会議で検討反映させている。又個別にヒアリングを行い運営に反映させている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務変更・他ユニットとの連携・職員同士の協調により柔軟な対応を行ない要望に応える体制を取っている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>マナー化防止また活性化のための異動は行なっているが最小限に収め利用者へのダメージがないように努めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルに応じてのOJT及び社外研修・法人の研修等で育成を図るとともに各自目標設定を行い自己啓発の促進を行なっている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人の委員会等を通じ交流している。また同業者の施設見学等を行いサービスの質の向上を図っている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会の補助やサークル活動・法人全体の行事等を行いストレスの軽減に努めている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年初に部門目標・自己目標の設定を行い自己評価・面接ヒアリングを行いその達成度による評価を行い向上心をもって働けるよう努めている。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前施設見学及びこちらからの訪問をとおして本人・家族の要望・要求に対して十分に話し合いを行い入居者が安心して暮らせる環境作りに努めている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前施設見学時家族の要望・要求・質問に対して十分に話し合いを行い不安解消に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族会・来訪時・電話等での相談・要望に対して707-ミーティングにより支援の見極めを行い対応する。またケアマネジャー・行政との連携によりサービスに努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の面接及び施設見学時職員及び入居者の紹介等を行い安心してサービスが利用できるよう配慮している。また家族より特性・趣味等情報入手し他の入居者とコミュニケーションが取れるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	時間が少しかかっても本人が出来ることはしてもらい個々人のことばに耳を傾け共に支えあう環境作りに努めている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会 回/隔月開催により共に入居者を支える体制を作っている。又季節ごとの行事にも参加してもらい合同で支援を行なっている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来訪時・家族会等での情報をもとに本人と家族との関係の理解を行い季節ごとの行事・誕生日会等を通じてよい関係が築けるよう支援している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時々のお外出で馴染みの場所へ案内すると共に地区の行事にも参加し本人が安楽にいきいきと過ごせるよう支援に努めている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	体操・ゲーム・歌などを一緒に行うことにより入居者同士のコミュニケーションが維持できるよう個々人のペースに合わせて支えあうことができるよう努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホーム便り・広報誌等送付により様々な情報の提供を行い関係を大切にしている。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者自身の希望・意向を重視し本人の決定を最優先しながら他の入居者との調和が図れるように努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報をもとにケアプランを作成し対処している。又入居後の記録・日常生活の中でその都度変更も行ない全職員が把握できるよう努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者の心身状態を考慮しつつ職員・家族との連絡記録・本人の日常記録等により職員が共有し総合的な理解に努めている。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の日常生活を記録し本人・家族・職員の意見をもとにカンファレンス・ミーティングを行いケアプランを作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画作成に当たっては月1回のモニタリングを実施し3ヶ月～6ヶ月の計画を作成しているが急な心身不安定をきたした時はその都度本人・家族・職員等関係者と協議し現状に即した計画に変更している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録・経過記録・介護日誌・フローシート等で情報の共有を行い介護計画作成に活かしている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人の機能（病院・医院・訪問リハビリ・訪問看護等）を活かした柔軟な支援を行なっている。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	老人会等地区行事への参加・ボランティアによる訪問演芸・当法人の行事等に参加し地域・民生委員・ボランティアと協力し合いながら支援している。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者の日常の状況・本人、家族の要望を聞きデイケア-等のサービスを利用できるよう取り組んでいる。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	同一法人の居宅介護支援事業所と連携し地域包括支援センターと協働している。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設された医院で定期的な訪問診療・健康管理を行なっているが、本人・家族の希望があれば他の医療機関の適切な医療が受けられる体制作りを行ない支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	併設された医院の専門医による訪問診療により支援している。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入居者は併設の医院の看護師が把握し年間を通じて健康管理をしており急変の場合の相談（夜間を含め）にも気軽に応じてくれており支援する態勢が出来ている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	同一法人の医院・病院との連携は十分出来ており病院の相談員等との情報交換を行い早期退院に向けた体制が出来ている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期に関しては入所時に書面による説明を行なうとともに家族の来訪時・家族会等で話し合い情報交換を行いながらその都度確認を行ない医師の意見を取り入れながら全員で方針の共有化を行なっている。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族・医師との情報交換を行い「できること・できないこと」の検討を行いその都度の変化に対応している。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	別の居所に移る場合はその関係者と十分な情報交換を行いダメージを和らげることに努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1．その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の人権を尊重した声かけ・対応するとともにプライバシーに関する記録・個人情報等の記録の管理には十分気を付け機密の保てる場所に保管している。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望には極力沿うよう工夫し対処している。また自分で表現できない方については家族の要望・情報等から納得し暮らせるよう支援を行なっている。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々人に合わせた生活・希望に沿ったケア・支援に努めている。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節に応じた身だしなみに気を配り月一度の理容日を設け希望により理容を行なっている。その他本人・家族の希望により家族の方が行なったりお連れすることもある。	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る人には食事の下ごしらえ食卓を拭く等の準備等手伝ってもらっている。	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	病気による制限がない方については本人が望むものを飲食できるよう支援している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っており入居者が心地よく過ごせるよう配慮するとともに極力オムツは使用しないよう努めている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>その日の状態により入浴介助を行っており基本的には午後入浴であるが希望により午前に行なうこともある。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>個々人に合わせた起床・睡眠に努めている。休息についても個々人の意思を尊重し気持ちよく過ごせるよう支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>出来る方には洗濯物をたたんだり食事の手伝い等行ってもらったりしながら張りがある日々が過ごせるよう努め、歌・ゲーム等楽しみ時には他のユニットを訪問し気晴らしが出来るよう支援している。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望により買物に同行し本人の欲しい物を選んで自分で支払ができるよう支援している。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気のよい時は希望により日向ぼっこ・散歩、買物等の支援を行なっている。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>ドライブ・外食等利用者又家族と出かけられる機会を作り支援している。また季節ごと家族と一緒に出かけられる行事を行っている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には自由にしてもらっている。介助が必要な方には本人の伝えたいことをお聞きし家族に伝えるよう支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は自由に行なってもらっており知り合いのかたも訪れたり居室で談笑したり心地よく過ごせるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	講習会・勉強会を通じて職員が理解共有しており身体拘束の無いケアを実践している。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	十分な見守りを行うことにより玄関も昼間は開放し鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーを尊重しながら夜間の巡回も頻繁に行い昼夜を通じて安全に配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤等危険な物は目に付かないところにしまっているが入居者の自立度に応じ使用を支援し危険を防ぐ努力をしている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	法人の各委員会（転倒防止委員会・リスクマネジメント等）に出席し事故事例の検討を行なっている。また勉強会・講習会（外部も含め）に参加し事故防止に取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会回 / 月や同一法人の訓練等に参加し知識を高めている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2回 / 年の火災訓練を行ない災害時に備えている。また地域との交流の中で協力を働きかけている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族の訪問時また電話によりその都度の変化を伝え常にリスクがともなう事を説明したうえで抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を講じている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バタフライを行い変化があればすぐに対応できる体制を取っている。夜間等は看護師の助言を受け同一法人の病院での対応を行なっている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理が出来ない人には職員が管理し個々人の薬の文献はファイルし常に目を通し確認に努めている。症状の変化に対しては併設の医院で対応している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝の体操・ストレッチにより予防に努めると共に食事形態や水分補給に気を配り排便のチェックを行い快適な生活が送れるよう努めている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きの声かけを行い介助が必要な方には義歯の洗浄や口腔内の洗浄、またガーゼにて口腔ケアを行い清潔に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立によりバランスのとれた食事を提供している。また定期的に管理栄養士の指導を受けている。水分摂取には特に注意を払い記録を取り十分な水分の確保に努めている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対するマニュアルがあり実行している。また予防接種等家族の同意の下に行なっている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗いの徹底と調理用具の洗浄・乾燥に努め安全な食事の提供に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 士 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇に季節の花を植え心の和む配慮し入口は花・絵により家庭的な雰囲気が出せるよう工夫している。また各階の入口に四季折々の飾りを行い和やかな雰囲気作りに気を配っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具・絵・四季折々の花を飾り快適な生活が送れるよう工夫している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所 づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	イス・ソファ・畳等で工夫し各々が自由に過ごせるよう工夫している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベット・如-ゼットは造り置きだがその他は家庭で使い慣れた物を持ってこられて居心地よく過ごせるよう工夫している。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には気を配り温度調節も居室では個々人に合わせた温度調節を行なっている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベットの位置・高さも個々人に合わせ自立した生活が送れるよう工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々人に合わせた環境整備を心掛けている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	職員と共に花壇での花・野菜作り等を行い活動できるよう工夫している。また日向ぼっこが出来るようにベランダにも椅子を配置している。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 個人に合わせた対応を行なっている。
- ・ 個人の希望（午前・午後入浴）・レベル（特浴・一般浴）に合わせた入浴を行なっている。
- ・ 毎食後の口腔ケアを十分に行い出来ない人にはガーゼで拭き取り誤嚥防止に気を付けている。
- ・ 対面キッチンでホール全体が見渡せ見守り、会話が交わす家庭的な雰囲気をかもし出している。

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム ぬまくま(4階 ユニット)

評価年月日 2009年 1月 29日

記入年月日 2009年 1月 23日

記入者 代表/管理者 氏名 羽田 春枝

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念「私たちは医療、看護、介護のトータルサービスで地域の皆様が笑顔でいきいきと人生をおくることができるよう支援します」をもとに入居者あるいは併設医院の患者様とともに支援している		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各階のスタッフルーム掲示、スタッフの名札の裏に明記しフロアミーティング、勉強会、ケアカンファレンス等で再確認し、実践に向けて取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念をエレベーター内に掲示するとともに家族会、運営推進会議等機会あるごとに説明し、地域の方々への理解、協力していただけるよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	併設の医院を含め、なじみの隣近所の方が立ち寄り、季節の花、野菜等持って来られたり、気軽にあいさつしたり、声掛け合ったりしている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や奉仕活動等、可能な限り参加し、日常のつきあいに努めている また、敬老会、夏祭り等一緒に参加している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の知人等、訪問され一緒にお話したり、地域の夏祭り、敬老会に参加したり、可能な限り協力している		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価、外部評価を実施する意義をミーティング、勉強会等で常日頃から話題にし、不足部分の改善に努めサービスの向上に努めている		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での報告、意見、要望等をフロアミーティングで周知し、そこでの意見をサービスの向上に活かしている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて、社会福祉協議会、担当職員又は、保健福祉課などの市町村、福祉関係者と連絡、行き来したり、連携取っている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	講習会、法人内勉強会への参加を促し、必要な方には、社協のかけはし制度や精神障害保健など、実際に活用支援を行っている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	同一法人内外の講習会、勉強会で学ぶ機会を設けたり、グループホーム協会の刊行物等の情報共有したり、虐待につながる行動を見つけ出し、防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書、重要事項説明書等の資料に基づいて充分説明し、不安、疑問点があれば、いつでも尋ねていただけるよう、また解約時も話し合いし、理解、納得を図っている</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見があった時には、全職員で話し合いをし、対策を検討している</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>預かり金については定期的に明細を送付している ホームでの生活、健康状態は面会時に報告、また急を要する場合は電話連絡にて報告している</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議、家族会などで意見交換の場を設け、管理者、職員にも相談いただき、その意見を全職員で共有、反映するよう努めている</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>フロアミーティングなどで出された意見をリーダー会議、法人運営会議で検討したり、また個別にヒヤリングを行い、運営に反映させている</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じて他ユニットとの連携を取ったり、ホーム長が対応したり職員配置している また人手の要する行事などはボランティアの応援してもらっている</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>マンネリ化防止また活性化のための異動は行っているが、最小限に収め、入居者の不安、レベル低下にならないよう注意しながら配慮している</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルに応じて、OJTや社外研修などで育成を図る あわせて目標管理による自己啓発の促進を行っている		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内委員会活動を通じて交流したり、関連のグループホーム間で定期的に話し合い、勉強会等を行い、お互いに刺激しあって、サービスの質の向上に努めている		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者や職員のストレスを軽減するため、サークル活動や各行事を行ったり、職員の親睦会を行ったり、また、個人との話し合いの場を設けるよう等工夫している		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員は年度初めに自己目標を立て、それに向かって取り組み、管理者は目標を把握し、努力や実績の評価をし、運営者は、その目標管理を行なっている		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からの情報を頂き、要望、要求等十分に話し合いを行い、安心して暮らせる環境作りに努めている		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前相談等により要望、要求に対して話し合いを十分行い、不安解消となるよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談、要望に対してフロアミーティング等での話し合いのほか、介護支援専門員、市町村との連携によりサービスに努めている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族より情報を収集し安心してサービスが受けられるよう配慮している 趣味や得意なもの等情報を集め他の入居者とのコミュニケーションが取れるよう努めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	無理強いせず、できる事は手伝って頂き、ともに支えあう環境作りに努めている		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族 会や面会時などで思いを話し合ったり、また入居者にとってどうすれば一番良いのかともに考え、ともに支えている また季節ごとの行事にも参加頂き、一緒に支えあう関係を築いている		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来訪時、積極的に家族と情報交換しながら、なんでも話し合える関係作りを築いていくよう支援している		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方、友人などの面会を積極的に受け入れ、関係が継続出来るよう訪問時にはゆったりと面会できるように支援している		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ゲーム、好きな歌など全員で楽しめることを考えて行い、入居者同士のコミュニケーション作りに努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要に応じて情報の提供を行い、関係を大切にしている 退居された場合にも在宅サービスや入院に切り替えることで協力機関との連携をとっている		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの意向を大切にし、他の入居者との調和が図れるよう努めている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時面接などにより、本人、家族より情報を得たり、本人との会話により、得た情報を記録して全職員が把握できるようにしている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の申し送り、ミーティング、経過記録などに記入して職員全員が把握するようにしている		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成時にはケアカンファレンスを行い、本人、家族の意見、要望等聴きながら介護計画を作成している		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は最長6ヶ月にしており、変化があった場合はその都度、計画の立替えを行っている 1ヶ月に1回はモニタリングを実施している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録、フローシート、相談記録の活用、見直ししたり、カンファレンスなどに生かし、申し送りノートの活用にて情報を共有している		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人の医院、病院、訪問リハビリを生かしたり、季節ごとの外出支援などの柔軟な対応をしている		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域行事への参加、ボランティアによる訪問園芸、演奏にいられたり、また民生委員の協力も得て、支援している		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要な場合は関連のまり居宅介護支援事業所との連携を取っているまた、本人、家族の要望を聞き、訪問リハビリや地域の行事に参加するための支援も行っている		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	関連のまり居宅介護支援事業所と連携したり、地域包括支援センターとも相談したりアドバイス受けたりと協働している		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の医院より、入居者の負担がかからないように訪問診療にしている 家族の希望があれば他の医療機関の受診できるように体制作りを行い、支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	主治医と連携を取りながら、本人と共に家族、職員が相談に行ったり、変化に伴った診断、治療を受け、状態変化を報告をしている		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	併設の医院の看護師が把握しており、定期的な受診により、健康管理をしている急変の場合も相談、指示してもらっている		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	同一法人の医院、病院との連携で入院中の様子や早期退院に向け医師、看護師長、相談員と連絡を取り合い、相談している		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化、終末期のあり方について入居時に話し合っている。また、必要性の出た時には、医師、本人、家族と確認し、職員と情報を共有している		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	本人、家族の希望を組み入れ、ホームにて穏やかに過ごすことが出来、法人グループの中で穏やかに終末期を過ごすことができるよう医師、訪問看護との連携を取りながら行っている		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	本人、家族の希望があれば、別の居所へ移られる際には本人に関わるスタッフ同士で話し合い、情報交換を行い、ダメージを防ぐよう努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1．その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人の人格を尊重し、声かけに注意しながらプライバシーに配慮するよう心がけ対応している 個人記録などの書類は、機密の保たれる場所に保管している</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人の希望により外出支援やおやつの手作りと一緒に作ったりして自分で納得しながら暮らせるように支援している</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>朝ゆっくり寝ていたい人、食事時間もずらしたり希望に合わせたケアに取り組んでいる</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>自分の楽しみなお化粧をしたり、家族の方がホームまで来られ、好みに合わせて散髪をしに定期的に訪問していただいている</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備のため野菜の下準備（皮むき、など）など、出来る方には下膳などでもできることの支援もしている</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>家族会などの行事に特別好みのお酒も適量を飲んでいただいたり、t時には、ホットケーキなど手作りのおやつを作ったり、誕生日にはケーキを入居者と作ったり、出来ることをしてもらっている 食事は一人ひとりの状況に合わせた形態（キザミ、ミキサー）にて支援している</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行なっている 気持ちよく過していただけるように、出来るだけオムツは使用しないように努めている</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>その日の状態により入浴介助を行なっている 普段は午後入浴であるが、希望者には、午前浴も行なうこともある 入浴中は歌を唄ったり、リラックスされている</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>個々に合った起床、睡眠に努めている 休息についても日中のメリハリするために昼寝やソファでうたた寝したり、本人にあった支援を行なっている</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>出来る方には、洗濯物をたたんでもらったり、食事の手伝いをしてもらっている 歌、ゲームなど気晴らしができるよう支援している</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物の希望があれば、職員同行して自分で選び、支払い出来るよう支援している 金銭の管理が出来る方は自己管理、また預かり金にて管理している方もおられる</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日には、希望があれば、散歩、買い物などの支援を行なっている</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>ドライブ、外食等入居者、家族と一緒に掛ける機会を作り支援している また季節ごとの行事に応じて家族と一緒に掛ける機会をつくり、支援している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には自由に使ってもらっている 介助が必要な方には、本人の伝えたいこととお聞きし、支援している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は自由に行なってもらっている知人、近所の方にも気軽に面会に来られ個人の居室にて茶菓子など楽しんでいただいたりしている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束の手引きを周知し、また勉強会、講習会を通じて理解、共有している 実際に身体拘束はしていない		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室には鍵はなく、玄関も昼間は開放されており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者の動き、また所在確認、様子が把握できるよう配慮し、夜間は、1時間毎に巡回を行なっている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の能力に応じて洗剤等、危険物は目の届かない所にしまっており、使用する場合は職員が見守りしている		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒防止、リスクマネジメント等沼会グループの勉強会で防止策を学んで防止に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアル、ACLS講習等定期的に行い、沼隈病院から委員会の看護師からAED使用方法、心肺蘇生法などの指導もしてもらっている		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導で非難、防火訓練を定期的に行い、また災害時に備えて避難場所を全職員が熟知している		
72	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居者が思い思いの生活をしていくうえで常にリスクが常に伴うことを家族にしっかり説明し、話し合い、記録に記入し全職員共有している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々のバイタルチェックを行い、変化が見られれば、すぐ対応できる体制をとっている 夜間時は看護師の助言を受け、同一法人の病院での対応を行なっている		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者の薬の文献はファイルにして常に見える所に置き、効能、副作用について確認理解し服薬管理して、出来ない方は見守り、介助、確認している		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝の体操により予防に努めている 水分補給に十分配慮し、排便コントロールを行い、必要に応じて下剤により調節している		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きの声かけをしながら自立している方には見守りをし、介助を要する方は、義歯の洗浄や口腔内の洗浄を行い、清潔保持に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士のつくった献立表で栄養バランスをとっている また水分補給に関しては1日の摂取量を記録して、十分注意し、水分の確保に努めている3ヶ月に1度の訪問栄養管理指導も行なっている		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアル、標準予防策が取り決めてある また法人内感染予防委員会もあり、対応策について検討している インフルエンザの予防接種は毎年入居者、職員全員行なっている		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗いの徹底と調理用具の洗浄、乾燥(漂白剤にて除菌、消毒)に努め、食材は必ず火を通して行っている また、栄養管理チェック表を毎食事時に行なっている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇に季節の花を植え、心の和む配慮をしてある また入口には花瓶等の花、絵により家庭的な雰囲気を出せるよう工夫している		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	きせつの花を飾ったり、絵、作品などを飾り付け明るく、快適な生活を送っていただけるようにしている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子、ソファ、畳などで工夫し、各入居者が思い思いの生活を過ごすよう工夫している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、クローゼットは作り置きだが、それ以外は、本人が使い慣れた物、仏壇、家族の写真などを持ってこられ、家と同じように居心地良く過せるよう工夫をしている		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日当たりの良い窓でひなたぼっこをしたりして楽しみ、また、そとに出て季節の花を楽しんだりしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は出来るだけバリアフリーで、手すりもある 居室内ベッドは各自の身体状況に合わせ、高さの調整出来る物もあり、また、浴室も一般浴槽、特別浴槽もあり、身体状況にて調整している		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々に合わせた環境整備を心がけ、混乱を招く方には、名前の分かりやすいように目印したり、トイレなども理解しやすいよう工夫している		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	日当たりの良い窓でひなたぼっこをしたりして楽しむ 玄関前の花壇、プランターには季節の花を植え、暖かい日には、散歩するよう促している		

・サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない 19	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

4階のアピールすることは、明るく活気のあるカラーで、一人ひとりの個性や能力を最大限に発揮できるよう努めている。また、皆様、歌が好きで地域の方やボランティアの方々が来られたら、一緒に楽しめるように場の雰囲気作りに力を入れている。

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム ぬまくま(5階 ユニット)

評価年月日 2009年 1月 29日

記入年月日 2009年 1月 23日

記入者 代表/管理者 氏名 池原 スエ子

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>基本理念「私たちは医療、看護、介護のトータルサービスで地域のみなさまが笑顔でいきいきと人生をおくることができるよう支援します」をもとに職員一同は、入居者、併設医院の患者様とともに支援している</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>各階のスタッフルーム掲示、スタッフの名札の裏に明記し、フロアミーティング、勉強会、ケアカンファレンス等で再確認し、実践に向けて取り組んでいる</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>理念をエレベーター内に掲示するとともに家族会や運営推進会議等で機会あるごとに説明し、地域の方々への理解、協力していただけるよう取り組んでいる</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>併設の医院を含め、なじみの隣近所の方が立ち寄り、季節の花、野菜など持って来られたり、気軽にあいさつしたり、声かけあったりしている</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の行事や奉仕活動など、可能な限り、参加し、日常の付き合いに努めている 敬老会、夏祭りなど一緒に参加している</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者など訪問され、一緒にお話したり、地域の夏祭り、敬老会に参加したり可能な限り協力している		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価、外部評価を実施する意義をミーティング、勉強会などで常日頃から課題にし、不足部分の改善に努め、サービスの向上に努めている		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での報告、意見、要望などをフロアミーティングで周知し、そこでの意見をサービスの向上に努めている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて、社会福祉協議会、市の担当職員または、保健福祉課などの市町村福祉関係者と連絡、行き来：したり、連携取っている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	講演会、法人内勉強会への参加を促し、必要な方には、社会福祉協議会のかけはし制度や精神障害保険など実際に活用支援を行っている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	同一法人内外の講習会、勉強会で学ぶ機会を設けたり、グループホーム協会の刊行物などの情報共有したり、虐待につながる行動を見つけ出し、防止に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書、重要事項説明書などの資料に基づいて充分説明し、不安、疑問点があれば、いつでも尋ねていただくよう、又解約時も話し合いし、理解、納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見があった時には、全職員で話し合いをし、対策を検討している</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>あづかり金については定期的に明細を送付している ホームでの生活、健康状態は面会時に報告、また、急を要する場合は電話などにより報告している</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議、家族会などで意見交換の場を設け、管理者、職員にも相談いただき、その意見を全職員、共有、反映するよう努めている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>フロアミーティングなどで出された意見をリーダー会議、法人運営会議で検討したり、また、個別にヒヤリングを行い、運営に反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じて、他ユニットとの連携を取ったり、ホーム長が対応したり職員配置している 人手の要する行事などはボランティアの応援してもらっている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>マナー化防止又活性化のための異動は行っているが、最小限に収め、入居者の不安、レベル低下にならないよう注意しながら、配慮している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルに応じてOJTや社外研修などで育成を図るあわせて目標管理による自己啓発の促進をおこなっている		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人の委員会などを通じて交流したり、関連のグループホーム間で定期的に話し合い、勉強会など行い、お互いに刺激あって、サービスの質の向上に努めている		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者や職員のストレスを軽減するため、サークル活動や各行事等を行ったり年2回の親睦会を行ったり、また、個人との話し合いの場を設けるなど工夫している		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員は年度はじめには自己目標を立ててそれに向けて取り組み、管理者はそれを把握し、努力や実績の評価をし、運営者はその目標管理を行っている		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からの情報を受け、要望、要求など十分に話し合いを行い、安心して暮らせる環境作りに努めている		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前相談などにより、要望、要求など十分に話し合いを行い、不安解消となるよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談、要望に対してフロアミーティングなどでの話し合いして、介護支援相談員、行政との連携により、サービスに努めている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族より情報を収集し、安心してサービスが受けられる様配慮している 趣味など情報を集め、他の入居者とのコミュニケーションが取れるよう努めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	無理強いせず、出来ることは手伝って頂いて、ともに支えあう環境作りに努めている		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会開催により、共に入居者と支える体制を作っている また、季節ごとの行事にも参加して頂き、合同で支援をしている		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来訪時、積極的に家族と話したり、相談したり、より良い関係作りを支援している		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時々外出時、馴染みの場を訪ねたり、訪問時には、間に入ってより良い関係作りが出来るように支援している		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ゲーム、歌など全員で楽しめる事を考えて行い、入居者同士のコミュニケーション作りに努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要に応じて情報の提供を行い、関係を大切にしている 退居された場合にも在宅サービスや入院に切り替えることで、関連事業所とも連携とっている		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの意向を大切にし、他の入居者との調和が図れるように努めている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時面接などにより、家族、本人よりの情報を得たり、本人との会話により得た情報を記録し、全職員が把握するようにしている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の申し送り、ミーティング、経過記録に記入し職員全員が把握するようにしている		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成時にはケアカンファレンスを行い、本人、家族の意見も聞きながら介護計画を作成している		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は最長6ヶ月にしており、変化があった場合は、その都度計画の見直しを行なっている 1ヶ月に1回モニタリングを実施している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録、経過記録、フローシート等に記入し、介護計画の見直しに活かしている		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人の病院、医院、訪問リハビリを活かした柔軟な対応をしている		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域行事に参加、ボランティアによる訪問園芸、演奏などや、民生委員の協力を得て、支援している		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人、家族の要望を聞き、訪問リハビリや、公民館での行事に参加したり、かかりつけ医院を利用したりしている		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	まり居宅介護支援事業所との連携し、関連事業所を通じて、地域のサービスの種類等、相談、アドバイスを受けたりしている		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の医院より、本人の負担のないよう訪問診療にて対応している家族の希望があれば他の医療が受けられる体制作りを支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>希望により併設の医院の専門医の受診したり、職員が相談したり適切な治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>日頃の健康管理のアドバイスや急変の場合の相談、指示など、併設医院の看護師に気軽に応じてもらっている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>同一法人の医院、病院との連携は十分できており、病院の相談員、看護師長、医師との情報交換を行いながら方針を共有している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合における対応に係る指針を入居時説明し、書面も記入してもらっている 必要性が出てきた場合、随時本人、家族、医師と話し合いしている</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ホームで穏やかに過せるよう、本人、家族、医師の意見を取り入れながら、検討している</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ホームより希望により別の居所に移り住むときには、本人に関わるスタッフと十分な情報交換を行い、ダメージを和らげることに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の人格を尊重した声かけや対応と記録、個人情報の取扱いは機密の守られる場所へ保管している	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望により、外出の支援を行ったり、入居者の希望により柿で干し柿などを作ったり、毎日柿をもんだり、楽しんでされるように支援している	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースに合わせて入浴の声かけ、食事の時間をずらしたり希望に沿ったケアに取り組んでいる	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月1回、希望の人は地域の理容院から来られている家族の協力を得て美容院にパーマをかけに行ったり、お出かけには、洋服選んで出来るよう支援している	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備を出来る方には手伝って頂き、出来る方は食事の後、下膳してもらっている テーブル拭きもしてもらっている	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族会等の行事では、お寿司のお弁当や日頃なかなか食べられないメニューの物やアルコール類など適量、提供している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、入居者が快適に過ぎて頂くよう極力オムツ使用はしないよう努めている		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	その日の状態により、入浴介助を行っており、基本的には午後入浴になっているが、希望により、午前や毎日入る方もおられる		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	個々の生活パターン、身体面を考慮して支援している 日中は出来るだけホールで過ごしていただいている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	出来る方には、洗濯物をたたんでもらったり、テーブルを拭いて、頂いたり、本人趣味で編み物をしたり、気晴らしが出来よう支援している		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	本人の希望により、買い物に行って好きな物を選んで職員同行でお金を支払うよう支援している また、自己管理している方もおられ、管理できない方は預かり金で管理している		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	天気の良いときには、希望により、散歩や買い物などの支援をおこなっている		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している</p>	家族会の協力を得て、花見、紅葉狩り、外食等家族と一緒に掛ける行事を行い、支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には自由に使用して頂いている 介助が必要な方には本人の伝えたいことをお聞きし支援している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	知人、馴染みの友人など気軽に訪問頂き、個人の居室で談話されたり、お茶を提供したりしている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	同一法人内勉強会、講習会を通じて理解を共有し、実際に身体拘束は、行っていない		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	十分な見守りにて各居室には鍵はなく、玄関も日中は開放されており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在や様子は把握して、見守りをしっかりしている 夜間は1時間毎の巡回を行っており、安全確認している		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤等の危険物は目に付かない所に片付けている 入居者の能力に応じて必要な物は職員が見守り管理している		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒防止委員会、リスクマネジメント委員会などの勉強会に参加し、事故事例の検討や防止策などの対策を考え、事故防止に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	同一法人の病院の医療スタッフが来設して、AED講習、緊急時の対応マニュアルなどの説明、体験訓練を定期的に行っている		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に非難訓練を行い、また災害時の非難場所を全職員が把握している		
72	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居者が思い思いの生活をしていくうえで、いつでもどこでもリスクがあるということを日頃から家族にしっかり説明し話し合い、その記録を全職員共有している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックを行い、変化があればすぐ対応出来る体制を取っている 夜間は医院の看護師の助言を受け同一法人の病院での対応を行っている		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理が出来ない方は職員が管理し入居者の薬の文献ファイルしており、職員が把握している		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝の体操や水分チェックを行い、予防に努めている また、排便チェックを行い、必要に応じて下剤にて対応している		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きの声かけを行い、介助が必要な方には義歯の洗浄や、ガーゼで口腔内洗浄を行い清潔保持につとめている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは同一法人の管理栄養士のカロリー計算された献立表作成されたメニューで作っている また、水分確保に気をつけ、1日量をチェックしている		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対応マニュアル、標準予防策など定期的に講習会を法人内で行っている また、感染予防対策委員会もあり、予防に努めている		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具などは夜勤帯で毎日消毒を行っている食材は必ず火を通すよう心がけている 毎食時調理前に衛生チェックを行い、予防に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	わかりやすい看板や玄関前に、季節の花をプランターに植えたり、エレベーター前には四季折々の飾りつけをしている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール、廊下などに季節を感じるものを飾ったり、ホールでも皆で楽しく過ごせるように配置にテーブル配置に工夫している		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ひなたぼっこをしながらお喋りされる方、ホールで好みや習慣など、考慮し、対応している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇、使い成れたタンス、家族の写真など置いて、本人が居心地良く過ごせるように工夫している		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気に気をつけ、温度、湿度調節など、設定温度調節している 入居者が快適に過ごせるよう小まめに調整している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体状態に応じてベッドの高さの調整出来る物、移動の方法により、解除器具の選択など病院の理学療法士からアドバイスもらったり適切な自立した生活の援助に心がけている		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの場所の位置を示した張り紙の工夫、居室が分かりにくい方は目印の飾り物や大きなプレートをつけたり工夫して混乱を防いでいる		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	入居者の希望により、屋上に干し柿を干したり、窓際の観葉植物に水遣りや手入れ等一緒に楽しんでいる		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

全てとは言えないが、本人のリズム、習慣を大切に、希望あれば、外出、買い物にと個別ケアにも力をいれている。
 皆さま、食べる楽しみが大いにある為、お好み焼き、ケーキ作り、干し柿作り等スタッフと一緒にコミュニケーションを取りながら、喜んで頂いている。
 皆が集う時間には、ゲーム、かるた取り、計算ドリル、歌等、脳トレーニングも楽しみの一つとして行っている。
 事業所全体として、同一法人の医院が併設しているので、入居者の健康管理や特変時等は連携を図り、いつでも受診出来る体制が出来ているので、家族の方も一番安心出来ると信頼されている。病棟を改築しているので、3,4,5階にあり、常石造船に囲まれて、地域性の雰囲気があり、海、山に囲まれて、四季の移り変わり等も味わい、安心、安全な暮らしが出来ています。近所の方も気軽に挨拶したり、季節の野菜などもよく、持ってきてくださる。